

五郎山と大原平の頭 山行報告

【日程】2018年11月17(土)~18(日)

【参加者】CL 柘植 SL佐藤 小俣(食料) 菅井(記録)

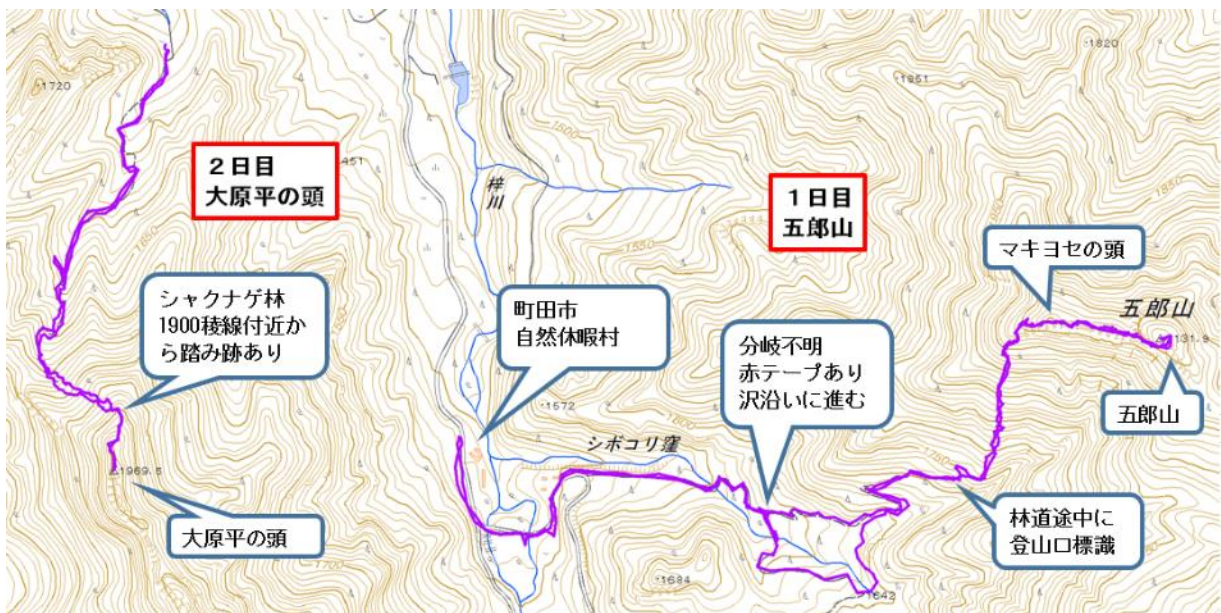
【コース】

11/17(土) 五郎山 快晴

千葉駅北口 5:45⇒町田休暇村 10:00⇒10:30 赤テープ印⇒10:50 登山口⇒12:20 マキヨセの頭
⇒13:00 五郎山 13:20⇒13:45 マキヨセの頭⇒14:25 登山口⇒15:10 駐車場⇒15:40 毛木平

11/27(日) 大原平の頭 晴れ

毛木平 6:25⇒6:45 農道終点駐車 7:00⇒7:30 沢沿入口⇒8:25 稜線⇒9:00 大原平の頭 9:20
⇒10:40 駐車場⇒ヘルシーパーク川上(入浴)⇒16:00 千葉



○11/17(土) 五郎山 …… 十文字峠の西5kmくらいにある岩山です

数日前の雨予報だったため山行できるかどうか危ぶまれたが、天気の流れが大幅に遅れて絶好の山行日和となった。今日の山行時間は比較的短いので千葉駅北口 5:45 のゆっくりとした出発だった。途中渋滞もなく順調に町田休暇村に到着。このすぐ上にキャンプ場があるが冬季休暇中。トイレも閉まっていた。しばらく林道を進む。登山地図ではこの辺だと思われる小さな沢の脇の木に赤テープが着いているが踏み跡がほとんどない。林道は更に続く。小俣さんが林道を偵察に上に行くが、結局この赤テープの着いた小さな沢に沿って入山。少し進むと林道に再び出る。林道に沿って進むと五郎山登山口と書いた小さな案内板があった。ここからが本格的な登山道だ。



迷いながら辿り着いた登山口



明るい斜面を登る

冬枯れとなった明るい急な道だが踏み跡はしっかりしている。石楠花が出てくるとまもなく稜線の展望の素晴らしい岩の上に出た。ここで5分程休憩。マキヨセの頭は更に2,3分ほど歩いた所だった。五郎山直前の岩峰からの五郎山の岩壁は素晴らしい。とても登れそうに思えない。登山道は岸壁の中腹を横切るバンドをたどり、横断しきつたあと半時計回りに巻きぎみに樹林帯を上る。実際に登るとあっという間に頂上に着いてしまった。頂上からは奥秩父を初めハッ、等周囲の山々が展望できる。見ていて飽きない見事な展望だが、20分ほどの休憩後同じ道を下山開始。14:25 小さな看板のある登山口到着。下山時は忠実に林道を下山。登る時より遠回りと言うことが判明。駐車場のすぐ上の沢で水を補給し毛木平に到着しテントを貼る。駐車場には数台の車があるが、やはりトイレは11月から冬季閉鎖中。水も出ない。水をくんできたのは正解であった。



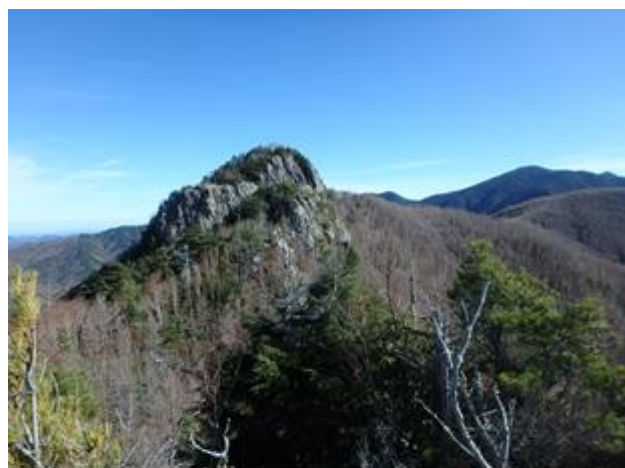
尾根に出たところで八ヶ岳の大展望



マキヨセの頭付近を登る



マキヨセの頭付近の岩稜を登る



ようやく五郎山が姿を現す



五郎山の岩壁(横断バンドを登る)



あの大きな岩壁の上とは思えない五郎山の山頂



同じく五郎山の山頂(バックは甲武信ヶ岳)

○11/18(日) 大原平の頭

5:30 起床。各自朝食後出発。鹿柵手前の畑の横に駐車。しばらく荒れた林道を進む。

林道が沢から離れる所から林道を離れ沢沿いの小尾根をのぼる。ここからはもはや登山道はない。落ち葉の間に苔むした岩が覗く比較的明るい急斜面が続く。30分程登り石楠花が多くなると、まもなく稜線の岩の上に出る。この岩の上からの展望もまた素晴らしい。ここからは石楠花の多い所々狭い岩稜が続く。足下はふかふかとした黄緑や白い苔がいしの上を覆っている。少し歩かれていますらしく薄い踏み跡がある。8:50 山頂手前の小ピークに着く。ここから山頂の切り立った岸壁が見える。東側を巻く様に登るとすぐに山頂に着いた。ここからの展望も素晴らしい。麓の村や畑、昨日登った五郎山もよく見えた。20分ほど休憩し、同じ道を1時間20分程で下山。ヘルシーパーク川上で汗を流し渋滞もほとんどなく帰葉。同行してくれた皆さんありがとうございました。



農道終点から林道をたどる



山頂手前の小ピーク(背後が大原平の頭)



大原平の山頂で記念写真



登ってきたヤブ尾根を下降